



いたしち

コミュニティ・スクールだより

令和7年度 第5号
板橋区立板橋第七小学校
校長 土性 知法
令和8年1月30日



第5回 板橋区コミュニティ・スクール(iCS) 委員会報告

開催日時

令和8年1月19日(月)
14:30～15:45

次 第

- 1 委員長挨拶
- 2 校長挨拶・学校の活動報告
- 3 熟議
『学校経営方針の承認と
次年度の活動計画』など
- 4 その他
諸連絡
配布資料
 - 1 学校の活動計画
 - 2 学校経営計画表・自己評価表
·学校関係者評価表
 - 3 年度末反省(教職員)
 - 4 学校評価・アンケート結果
(児童・保護者・教員)
 - 5 第1表の1 と 2 教育目標
 - 6 令和8年度のおもな行事予定及び
教育活動の変更点

教育目標について

承認をしていただきました

※1

MIRAI SCHOOLいたばしー板橋区教育ビジョン2035—
がめざす人間像・将来像を受け、—アクションプラン2028—
※2

の達成に向け4つの柱からなる教育方針を設定しています。

※1 5つのチカラ(=MIRAI)

Motivation : 自分らしく進むチカラ
Inclusion : 認め合って生きるチカラ
Relation : つながり助け合うチカラ
Activation : 自ら行動を起こすチカラ
Innovation : ゼロから切り拓くチカラ

※2 4つの柱

- 1 保幼小接続・小中一貫教育の推進
イエナプラン教育の要素を取り入れた教育活動の展開
- 2 確かな学力の育成
読み解く力を基盤とした、板橋区授業スタンダード・スタンダードSの実施・推進
- 3 豊かな心と健やかな体の育成
福祉教育
- 4 安心・安全に学べる居場所の充実
安心して過ごせる居場所づくりの充実

承認を得ましたので、2月中に、令和8年度の主な行事予定及び教育活動の変更点をお伝えします。

意見交流から(抜粋)

- ・子どもたちにとって、授業が楽しいだけでなく、学校が楽しい場所になっていると感じる。
- ・学校として取り組んだイベントがとてもよかったです。勉強は個別でもできることを考えると学校の役割が何になるのかを考えていきたい。意見の交流だったり発表しあったりして、集まってできることに意義がある。一時大学が遊園地化しているといわれたが、小学校も楽しみな場所で触れ合い、尊重しあえる場所になってほしい。
- ・「無理してやらなくてよい」と大変なことを乗り越えていこうとすることを望まない風潮がある。「やらせる必要があるんですか」という価値観の違いは存在している。ただ、子どもたちに、どうするのか、やるかやらないかを決めさせ、選択できるようにしてあげたい。それには、担任の存在も大きいと思う。頑張る先にあることは何か、経験として伝えてくれることが大きい。
- ・雑談の中に大事なことがある。本校の職員間では、よく話をしている。教材のこと、指導のこと、子どものことだけでなく、様々な話を活発に行っている。